

0:未経験 1:一できない 2:指導があればできる 3:一人でできる

		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
62	口腔内の観察、異物除去				63.0	32.8
63	人工呼吸の準備と方法				53.1	15.1
64	心臓マッサージ				52.1	19.2
65	チームメンバーへの応援要請				77.4	57.5
66	救急カートの場所と物品内容の把握				94.6	63.9
67	除細動器の準備と必要性の把握				63.9	22.4
68	止血の介助				52.7	21.9

### J. 症状・生体機能管理技術

69	呼吸・脈拍・体温・血圧を正しく測定					98.6
70	呼吸・脈拍・体温・血圧測定値の評価、記録と報告					93.2
71	身長・体重を正しく測定					95.9
72	身長・体重測定値の評価(栄養や発達の状態)				96.6	65.3
73	症状、病態を正確に観察				98.0	23.1
74	観察した症状、アセスメントの記録と報告				97.3	58.2
75	静脈血の採血と検体の取り扱い				67.3	36.7
76	動脈血採血(血液ガス)の準備と検体の取り扱い				47.6	17.9
77	採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い					85.0
78	血糖測定と検体の取り扱い					85.7
79	心電図(12誘導)の測定				58.9	18.5
80	24時間持続心電図モニターの管理				88.4	55.1

### K. 感染防止の技術

81	スタンダードプリコション(標準予防策)が実施できる					90.5
82	洗浄、消毒、滅菌のうち、適切な方法の選択				93.8	49.7
83	無菌的な気管内吸引				80.7	71.0
84	適切な手洗いの方法					99.3
85	防護用具(ガウン、手袋、ゴーグルなど)の使用方法					83.7
86	使い捨て注射器、注射針、刃などを耐貫通性の専用廃棄容器に廃棄					99.3

### L. 安全管理の技術

87	当該施設における医療安全管理体制の理解				93.8	45.9
88	対象に応じた転倒・転落予防策の実施			3-I (P13)で確認	100	70.7
89	対象に応じた抑制ができる			3-I (P13)で確認	97.3	60.5
90	誤薬防止のために手順を守り与薬できる			II AB (P7)・VII (P10)で確認		92.5
91	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故防止の報告					89.1

### M. 安楽確保の技術

92	対象に合わせた安楽な体位の保持					86.4
93	対象に合わせた適切な温電法または冷電法の実施					89.1
94	対象に合わせたリラクゼーション(指圧、マッサージ、音、香りの工夫等)				83.0	57.8

4 H19年度1年後に「3」の割合  
(左隣は「3+2」の割合)